

# アニマルプリントに対する好き嫌いの違いが無彩色アニマルプリントのイメージに及ぼす影響

## Influence of Likes and Dislikes on Animal Prints on the Image of Achromatic Animal Prints

西川 愛子 Aiko Nishikawa

(家政学部こどもの生活専攻)

### 抄 録

アニマルプリントに対する好き嫌いの違いが無彩色アニマルプリントのイメージに及ぼす影響を明らかにすることを目的に、アンケート調査及びSD法による官能評価を行った。その結果、アニマルプリントに対する好き嫌いの違いは「かっこよくないーかっこいい」、「古いー新しい」、「時代遅れなーファッショナブルな」に代表されるファッション性と「安価なー高価な」にみられる価格感に影響していることがわかった。すなわち、アニマルプリントを好む女子大学生は無彩色アニマルプリントに対して高いファッション性と価格感を感じているといえる。

### キーワード

アニマルプリント Animal Print

SD法 Semantic Differential Method

好き嫌い Likes and Dislikes

### 目 次

- 1 はじめに
- 2 アンケート調査
  - 2.1 アニマルプリントに対する嗜好
  - 2.2 アニマルプリントの衣服の所持枚数
  - 2.3 アニマルプリントの服種
- 3 官能評価
  - 3.1 評価方法
  - 3.2 試料
- 4 結果と考察
  - 4.1 レオパード柄のイメージプロフィール
  - 4.2 ゼブラ柄のイメージプロフィール
  - 4.3 ホルスタイン柄のイメージプロフィール
  - 4.4 タイガー柄のイメージプロフィール
- 5 おわりに

## 1 はじめに

動物文様は古くからみられる服飾文様のひとつである。動物文様に注目して日本の服飾文化をみると、例えば、平安時代の武官である隨身が用いた

蛭絵袍には熊文や獅子文がみられる。江戸時代の高松宮家伝来とされる小直衣には飛鶴文が表されている。また、ペルシャ絨毯で仕立てたとされる豊臣秀吉の陣羽織には獅子が獲物に襲い掛かる場面を表し

た鳥獣文が、江戸時代の小袖には鹿や牛、兎、鶴、千鳥、亀、鯉などが用いられている。しかし、動物文様は植物文様に比べると極端に数が少ない。主な動物文様は魔除けや吉祥などの特別な意味をもつものか、あるいは風物文様の一部として扱われるようなそれ自体が自己主張をすることのないものが多くみられる。ところが、近年、アニマルプリントと呼ばれる一種の動物文様を目にするようになった。アニマルプリントとは「動物の毛皮の模様を模倣したプリント地で、主に豹や縞馬、牛、犬などの縞柄や斑点に特徴のある動物の毛皮の模様をモチーフにしたもの」と「動物そのものをモチーフにしたプリント地」の両者を指すが、ここでは前者を研究対象としている。アニマルプリントは多くの場合、その柄自体を全体に配置することが多く、また、自己主張も強いように思われることから、これまでの日本の服飾文化にみられた動物文様とは全く異質のものであるといえよう。

文様や柄についてはこれまでに多くの研究が行われてきた。例えば、小菅ら<sup>1)</sup>による黒白水玉柄の面積比とイメージの関係についての研究、柳田ら<sup>2)</sup>による無彩色の水玉柄の直径および密度とイメージの関係についての研究などが挙げられる。また、衣服と柄の関係については、例えば、吉岡<sup>3)</sup>による和服における縞柄のイメージについての研究、加藤ら<sup>4)</sup>によるワンピースドレスにおける縞柄の印象評価に関する研究、諸岡ら<sup>5)</sup>によるレグウェアにおける横縞柄の印象評価に関する研究などが挙げられる。しかし、いずれの研究でも柄のサイズや密度といった柄の大きさや位置関係が注目されたため、水玉柄や縞柄のような幾何学的で規則的な柄を研究対象としたものが多く、佐藤ら<sup>6)</sup>が指摘したように、複雑な柄に対する感情効果の研究は少ないといえる。

そこで、本研究では日本の服飾文化にみられる動物文様としては新しい存在であり、また複雑な柄であると考えられるアニマルプリントに注目し、アニマルプリントの中でも市販されていることが多いレオパード柄、ゼブラ柄、ホルスタイン柄、タイガー柄について、これらがどのようなイメージを持たれているかを明らかにするとともに、アニマルプリントに対する好き嫌いの違いが無彩色アニマルプリントのイメージに及ぼす影響とはどのようなものであるかを明らかにすることを目的とした。なお、色の影響を避けるため、無彩色のアニマルプリントを研究対象としている。

## 2 アンケート調査

被験者のアニマルプリントに対する好き嫌いの傾向を把握するため、アニマルプリントに対する好き嫌い及びアニマルプリントの衣服の所有に関するアンケート調査を行った。実施時期は2012年6月および10月、アンケート回答者は女子大学生104名(平均18.8歳)であった。

### 2.1 アニマルプリントに対する好き嫌い

レオパード柄、ゼブラ柄、ホルスタイン柄、タイガー柄に対してその好き嫌いの程度についてアンケート調査を行った。評価は5段階(−2:嫌い, −1:どちらかといえば嫌い, 0:どちらでもない, 1:どちらかといえば好き, 2:好き)である。なお、この評価は特定の試料を提示したものではない。また、比較のため、女性用衣服に用いられることが多いと思われる水玉柄と花柄についても同様に評価させた。

図1に結果を示す。なお、レオパード柄の評価は0.01であり、「どちらともいえない」と評価された。ゼブラ柄やホルスタイン柄、タイガー柄は「どちらかといえば嫌い」に傾いて評価される傾向がみられた。また、アニマルプリント全般としては「どちらかといえば嫌い」と評価された。水玉柄や花柄は「どちらかといえば好き」と評価された。すなわち、アニマルプリントは柄の種類別であっても柄全般であっても、水玉柄や花柄に比べて、好まれている柄であるとは言い難いといえる。

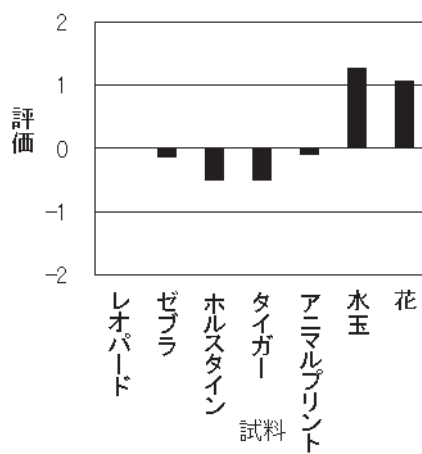


図1 アニマルプリント等に対する好き嫌いの評価

### 2.2 アニマルプリントの衣服の所有枚数

アニマルプリントの衣服の所有枚数を尋ねた。なお、ここではアニマルプリントの種類は特定してい

ない。図 2 に結果を示す。アニマルプリントの衣服を 1 枚以上所有している女子大学生が約 70% いることがわかった。これに対し、1 枚も所有していない女子学生が 30% 以上あった。こうしたことから、アニマルプリントは水玉柄や花柄ほど好まれていないにも関わらず、多くの女子大学生が何らかのアニマルプリントの衣服を所有しているといえる。その一方で、全く所有していない女子大学生も少なくなかった。

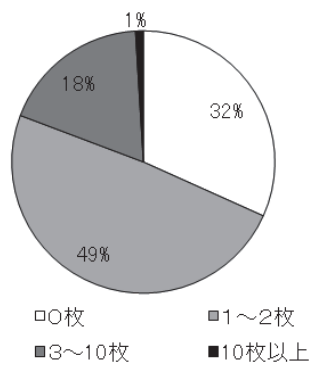


図 2 アニマルプリントの衣服の所有枚数

### 2.3 アニマルプリントの服種

アニマルプリントの衣服を所有していると回答した女子大学生に対し、その衣服の種類を複数回答で尋ねた。なお、「所有している」との回答 1 件に対して 1 点と換算した。図 3 に結果を示す。その結果、T シャツ類が最も多く、次いで、スカート・ズボン類、シャツ・ブラウス類がみられた。

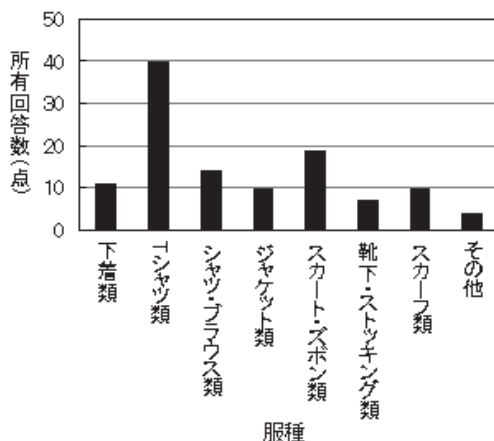


図 3 所有しているアニマルプリントの衣服の種類

## 3 官能評価

### 3.1 評価方法

2012 年 6 月および 10 月にアニマルプリントに対

し、SD 法による官能評価を行った。

被験者は女子大学生 104 名（平均 18.8 歳）であった。このうち、2.1 で行ったアンケート調査の「アニマルプリント」全般に対する好き嫌いについての結果をもとに「好き」及び「どちらかといえば好き」と答えた「好き」群 28 名と「嫌い」及び「どちらかといえば嫌い」と答えた「嫌い」群 40 名の合計 68 名分のデータを使用した。

被験者は机上に試料を置き、約 30 cm 離れた位置から評価した。なお、試料はランダムな順序に提示された。室内の照度は約 400 lx だった。

評価項目は先行研究を参考に選出した「暗いー明るい」や「くどいーすっきりとした」など 21 項目である。表 1 に形容詞対を示す。これらについて 5 段階（1：そう思う，2：まあそう思う，3：どちらでもない，4：まあそう思う，5：そう思う）で評価させた。

イメージプロフィールは 2 群の結果をもとに作成した。また、この 2 群の結果について F 検定及び t 検定を行った。（\*： $p < .05$ 、\*\*： $p < .01$ ）

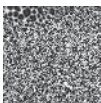

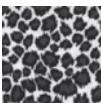
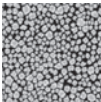
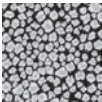
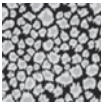









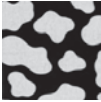


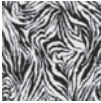


表 1 形容詞対

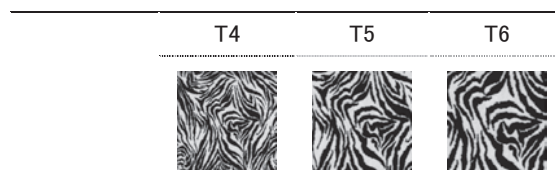
No.	形容詞対	
1	暗い	明るい
2	くどい	すっきりとした
3	男性的	女性的
4	かわいくない	かわいい
5	地味	派手
6	静的な	動的な
7	年よりじみた	若々しい
8	下品な	上品な
9	重い	軽い
10	かっこよくない	かっこいい
11	安価な	高価な
12	時代遅れな	ファッショナブルな
13	イライラする	落ち着いた
14	醜い	美しい
15	無知な	知的な
16	古い	新しい
17	嫌いな	好きな
18	汚い	きれいな
19	子供っぽい	大人っぽい
20	厳しい	甘い
21	重々しい	軽快な

### 3.2 試料

試料には市販綿布の無彩色アニマルプリントをスキャナー (Canon PIXUS MP500) で読み取り、光沢紙に 13 cm×13 cm のサイズで印刷し、これを 18 cm×18 cm の灰色台紙に貼り付けたものを用いた。なお、無彩色アニマルプリントの柄はレオパード柄、ゼブラ柄、ホルスタイン柄、タイガー柄の 4 種類である。これらの柄のサイズは原布を 100% とし、150% 及び 200% に拡大したものと、これらの試料を白黒反転させたものの、合計 24 種類を試料として用いた。表 2 に試料の外観を示す。

表 2 試料の外観

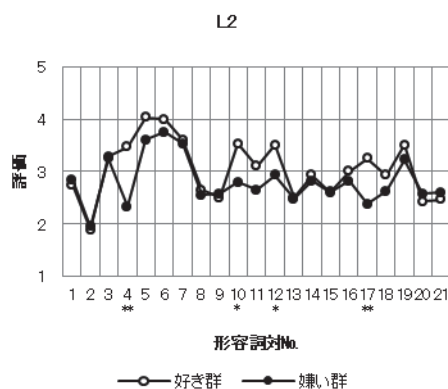
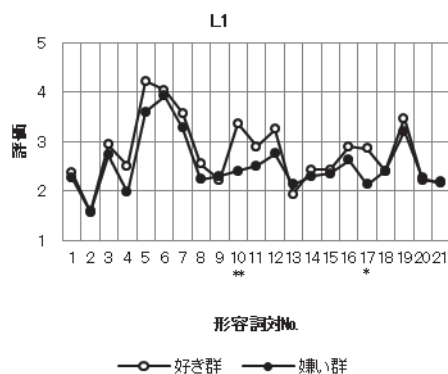
	画像サイズ		
	100%	150%	200%
No.	L1	L2	L3
レオパード柄			
	L4	L5	L6
			
No.	Z1	Z2	Z3
ゼブラ柄			
	Z4	Z5	Z6
			
No.	H1	H2	H3
ホルスタイン柄			
	H4	H5	H6
			
No.	T1	T2	T3
タイガー柄			

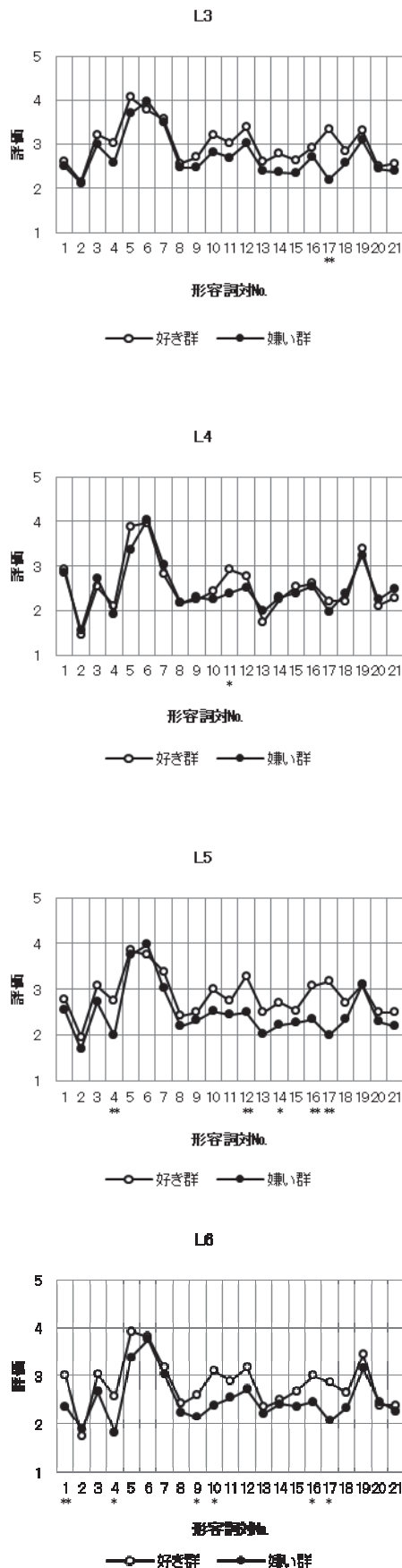


## 4 結果と考察

### 4.1 レオパード柄のイメージプロフィール

図 4 に各種レオパード柄のイメージプロフィールを示す。レオパード柄のイメージはアニマルプリントに対する好き嫌いや、画像サイズ、白黒反転に関わらず、「くどい」「動的な」と評価された。また、アニマルプリントに対する好き嫌いの違いについて、L1 では「かっこよくないーかっこいい」に、L2 では「かわいくないーかわいい」「嫌いなー好きな」に大きな差がみられた。また、L3 では「嫌いなー好きな」に、L5 では「かわいくないーかわいい」「時代遅れなーファッショナブルな」「古いー新しい」「嫌いなー好きな」に、L6 では「暗いー明るい」に大きな差がみられた。





## 4.2 ゼブラ柄のイメージプロフィール

図5にゼブラ柄のイメージプロフィールを示す。ゼブラ柄のイメージはアニマルプリントに対する好き嫌いに関わらず、Z1～Z3では「暗い」と評価されたのに対し、Z4～Z6では「明るい」と評価された。ゼブラ柄は他の柄と比べて地と図の面積割合の差が大きいため、白黒反転の影響を大きく受けたものと考えられる。また、アニマルプリントに対する好き嫌いの違いによりZ1では「カッコよくないーカッコいい」「安価なー高価な」に、Z2では「嫌いなー好きな」に大きな差がみられた。Z4では「時代遅れなーファッショナブルな」「イライラするー落ち着いた」「古いー新しい」「嫌いなー好きな」「汚いーきれい」に、Z5では「嫌いなー好きな」に大きな差がみられた。

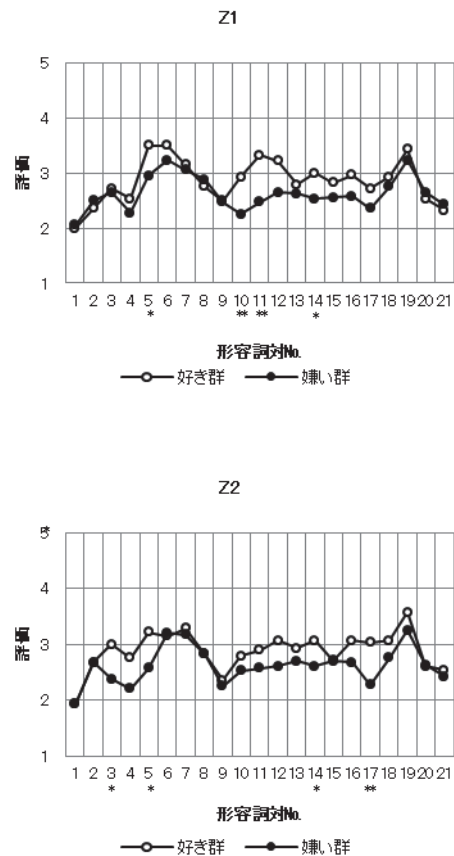
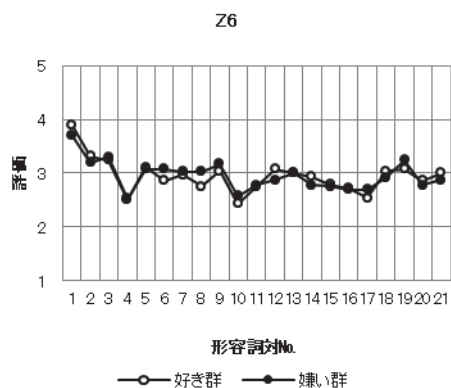
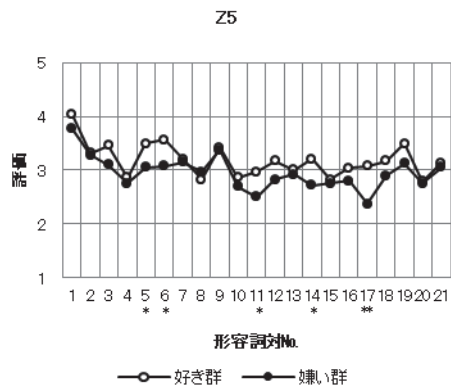
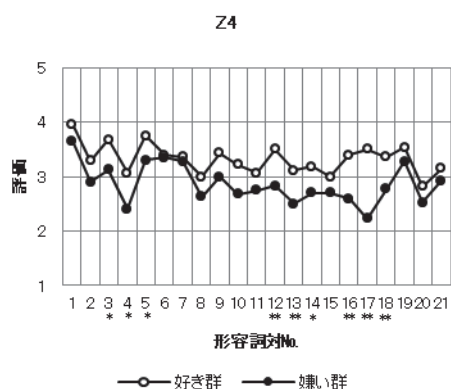
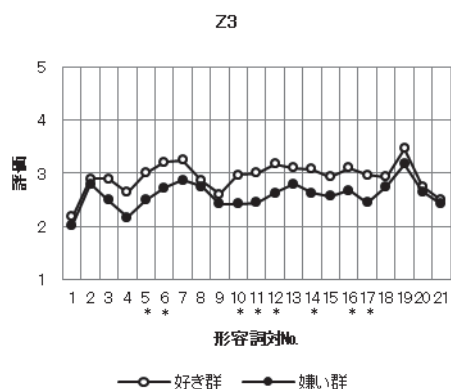


図4 レオパード柄（L1～L6）のイメージプロフィール



#### 4.3 ホルスタイン柄のイメージプロフィール

図6にホルスタイン柄のイメージプロフィールを示す。ホルスタイン柄のイメージはサイズ変化や白黒反転に関わらず、いずれの項目も「どちらでもない」と評価された。また、アニマルプリントに対する好き嫌いの違いによる差も小さくなく、H2で「汚い—きれい」に、H4で「安価な—高価な」「古い—新しい」に小さな差がみられたのみであった。

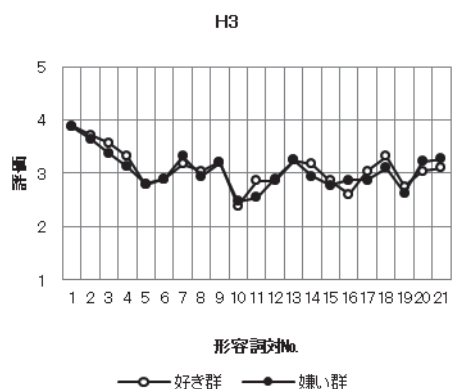
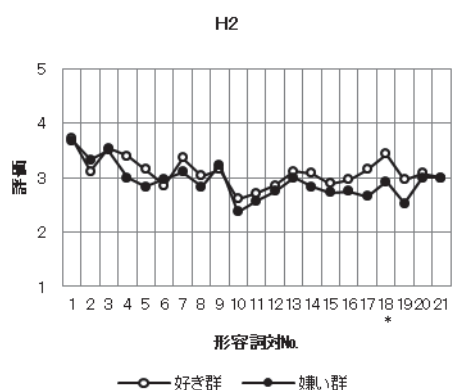
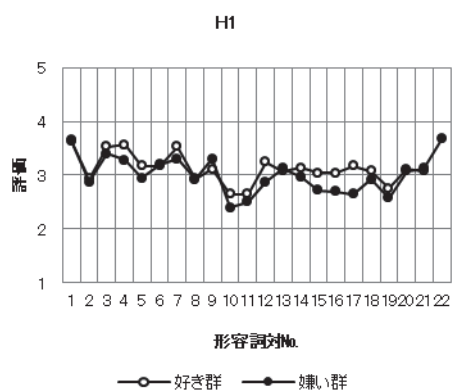


図5 ゼブラ柄 (Z1~Z6) のイメージプロフィール



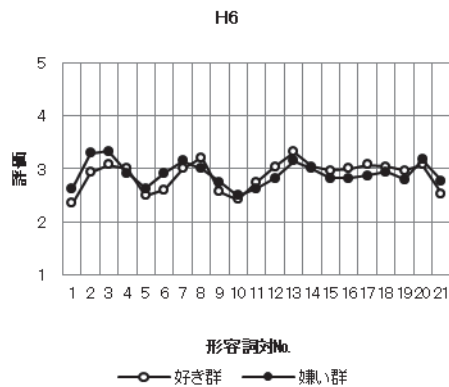
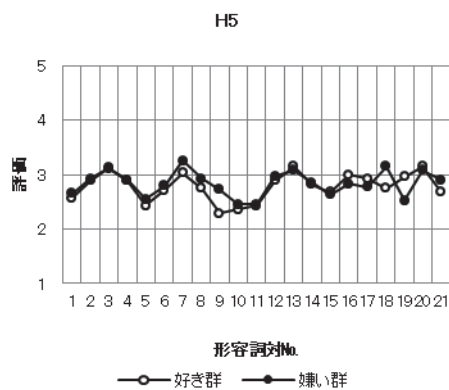
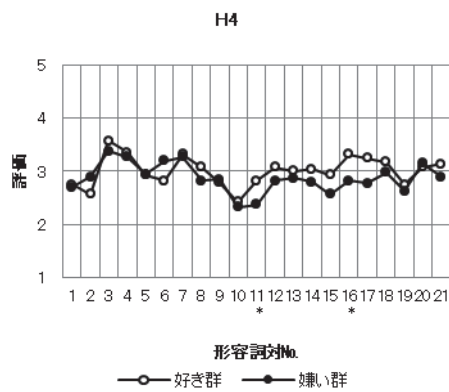
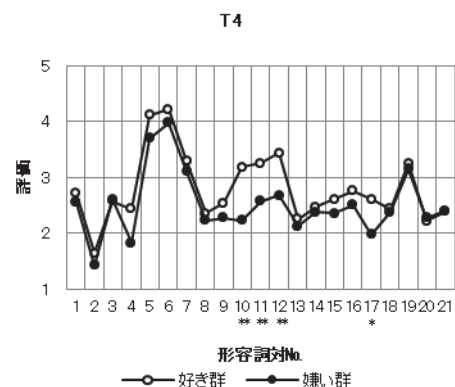
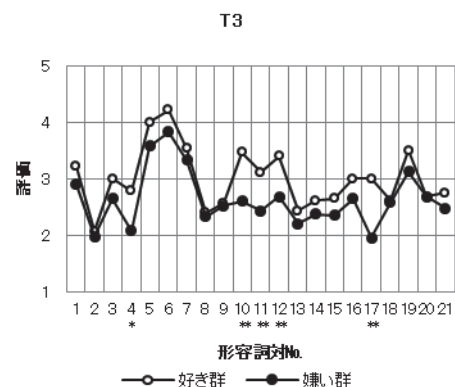
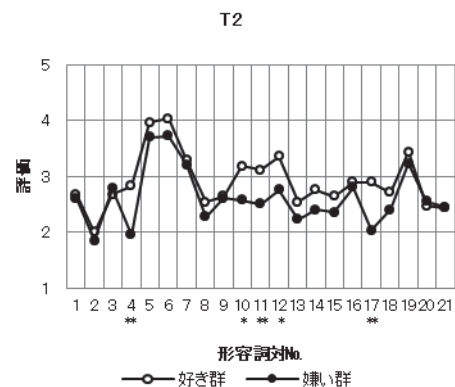
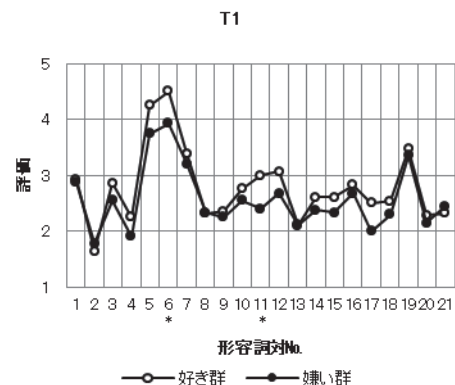


図6 ホルスタイン柄 (H1~H6) のイメージプロフィール

#### 4.4 タイガー柄のイメージプロフィール

図7にタイガー柄のイメージプロフィールを示す。タイガー柄のイメージは白黒反転のあるなしに関わらず、「くどい」「派手」「動的な」と評価された。また、アニマルプリントに対する好き嫌いの違いによりT2では「かわいくないーかわいい」「安価なー高価な」「嫌いなー好きな」に、T3では「かっこよくないーかっこいい」「安価なー高価な」「時代遅れなーファッショナブルな」「嫌いなー好きな」に大きな差がみられた。また、T4では「かっこよくないーかっこいい」「安価なー高価な」「時代遅れなーファッ

ショナブルな」に、T5では「時代遅れなーファッショナブルな」「古いー新しい」「嫌いなー好きな」に大きな差がみられた。T6では「安価なー高価な」「嫌いなー好きな」に大きな差がみられた。



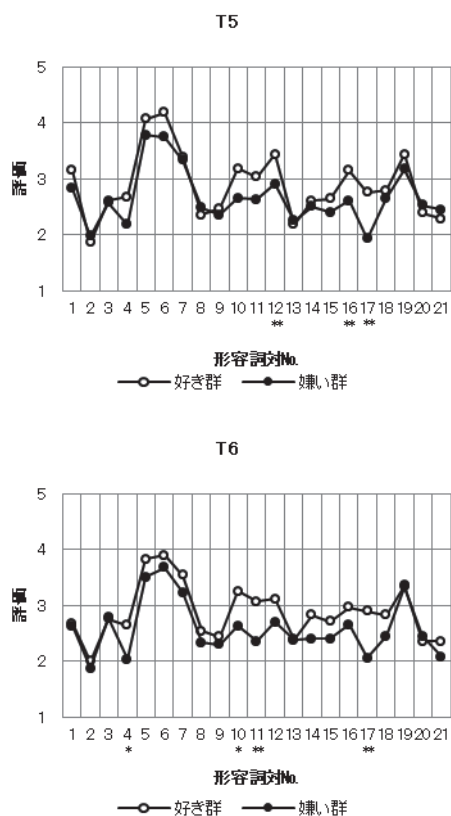


図7 タイガー柄 (T1~T6) のイメージプロフィール

## 5 おわりに

アニマルプリントに対する好き嫌いの違いが無彩色アニマルプリントのイメージに及ぼす影響を明らかにすることを目的に、アンケート調査及びSD法による官能評価を行った。

その結果、レオパード柄のイメージは「くどい」「動的な」、ゼブラ柄のイメージは白色または黒色の面積割合によって「明るい」あるいは「暗い」と評価された。ホルスタイン柄のイメージは「どちらともいえない」、タイガー柄のイメージは「くどい」「派手」「動的な」と評価された。また、アニマルプリントに対する好き嫌いの違いは「かっこよくないーかっこいい」「古いー新しい」「時代遅れなーファッショナブルな」に代表されるファッション性と「安価なー高価な」にみられる価格感に影響していることがわかった。すなわち、アニマルプリントを好む女子大学生は無彩色アニマルプリントに対して高いファッション性と価格感を感じているといえる。

こうしたことから、ある柄に対する総合的な評価としての好き嫌いの感情は同系の柄のイメージにも大きな影響を及ぼすと考えられる。

## 謝辞

アンケート調査及び官能評価にご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

## 引用文献

- 1) 小菅啓子、小林茂雄「水玉柄のイメージに関する基礎的考察」繊維製品消費科学会誌 31 (9) 427-431 (1990)
- 2) 柳田佳子、筋野淑子「無彩色の水玉柄のイメージに及ぼす直径と密度の影響」繊維機械学会誌 49 (8) 222-229 (1996)
- 3) 吉岡徹「被服における図柄のイメージ (第2報) 和服における縞柄と色彩のイメージ計量」家政学雑誌 37 (5) 1077-1084 (1986)
- 4) 加藤千穂、大澤香奈子、石原久代「縞柄の諸要因が服装の視覚的評価に及ぼす影響」繊維製品消費科学誌 49 (10) 711-721 (2008)
- 5) 諸岡英雄、Sambuunyam Orhon、諸岡晴美、中橋美幸、眞鍋郁代、松本陽一「レグウェアの縞柄が視感に及ぼす効果 Part1. 2色配色の等幅横縞柄の場合」繊維製品消費科学 44 (10) 608-617 (2003)
- 6) 佐藤昌子、皆川基「形状と色彩の感情効果に関する研究 (第2報) : その1. 単色の感情効果とその色の幾何学文様に配色した場合の感情に及ぼす色面積の影響」日本色彩学会誌 20 (2) 41-55 (1996)

## 参考文献

- 1) 河上繁樹、藤井健三「織りと染めの歴史ー日本編」昭和堂 (1999)
- 2) 文化女子大学教科書部編「ファッション辞典」文化出版局 (1999)

(原稿受理年月日 2019年10月10日)